



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場会社名 ダブル・スコープ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6619 URL <http://w-scope.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 元根  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼経営企画本部長 (氏名) 竹居 邦彦 (TEL) 03-5436-7155  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	839	187.4	△52	—	△79	—	9	—
25年12月期第1四半期	292	△41.0	△324	—	△285	—	△261	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △207百万円(—%) 25年12月期第1四半期 57百万円(△85.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年12月期第1四半期	0	65	0	64
25年12月期第1四半期	△18	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	11,628	—	9,677	—	83.0	—
25年12月期	11,758	—	9,878	—	83.8	—

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 9,649百万円 25年12月期 9,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,975	91.6	△132	—	△109	—	△20	—	△1	46
通期	4,783	76.0	188	—	264	120.4	288	109.9	20	36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年5月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期1Q	14,171,600株	25年12月期	14,171,600株
26年12月期1Q	—株	25年12月期	—株
26年12月期1Q	14,171,600株	25年12月期1Q	14,171,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
(2) 設備投資の予想値	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧州の景気の減速感の影響もあり、中国経済は軟調に推移をしたものの、世界経済全体では緩やかな回復基調となりました。

この様な状況の中、当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池セパレータ事業におきましては、民生用機器用途では市場の成熟化の進展はあるものの、モバイル機器における電池容量の拡大の影響等を受け、安定的な数量拡大が続いております。また、輸送用機器用途においては過度な悲観論の後退と同時に、電気自動車（EV）の拡大基調やハイブリッドカー（HEV）用途へのリチウムイオン二次電池の採用拡大により成長性が高まっております。これらを受け、セパレータ市場におきましても需給の改善の兆しが出てきました。

当社グループの連結売上高の73.1%を占める中国市場において旧正月の時期が含まれ、市場の閑散期にあたりますが、当社グループは顧客基盤の拡充に努めており、取引の質・量の両面からの改善により販売を行うことが出来ました。また、米国市場においては複数の顧客への売上が安定的に推移、連結売上高に対し18.7%の構成比となりました。これらは主に輸送用機器用途に関連したものです。

これらの要因により当第1四半期連結累計期間においては計画にそった販売を達成することが出来ました。

また、当社グループでは、かねてより大手バッテリーメーカーへのマーケティング活動を行ってまいりましたが、当第1四半期連結累計期間においては、日本の大手バッテリーメーカーへ量産出荷を開始致しました。今後とも世界的な大手バッテリーメーカーを中心に積極的な営業活動を継続して、顧客基盤の充実に努めて参ります。

平均為替レートにつきましては、当第1四半期連結累計期間の対米ドルが前年同期比で約10.62円円安の102.83円、対1,000韓国ウォンでは前年同期比で約11.1円円安の96.2円となりました。

このような環境のもと、売上高は839,509千円と前年同四半期と比べ547,437千円（187.4%）の増収となりました。また、営業損失は52,670千円と前年同四半期と比べ271,486千円の増益、税金等調整前四半期純損失は79,334千円と前年同四半期と比べ205,776千円の増益、四半期純利益は9,247千円と前年同四半期と比べ271,043千円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における総資産につきましては11,628,573千円となり、前連結会計年度末に比べ130,248千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

#### (資産)

流動資産につきましては5,329,565千円となり、前連結会計年度末に比べ95,111千円の減少となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加101,333千円、現金及び預金の減少106,257千円、商品及び製品の減少87,518千円があったことによるものであります。固定資産につきましては6,299,008千円となり、前連結会計年度末に比べ35,137千円の減少となりました。これは主として、建設仮勘定の増加106,671千円、繰延税金資産の増加87,866千円、建物及び構築物の減少42,580千円、機械装置及び運搬具の減少182,907千円によるものであります。

#### (負債)

負債につきましては1,951,388千円となり、前連結会計年度末に比べ71,502千円の増加となりました。流動負債につきましては1,847,045千円となり、前連結会計年度末に比べ63,111千円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加6,956千円によるものであります。固定負債につきましては104,342千円となり、前連結会計年度末に比べ8,391千円の増加となりました。これは主として、退職給付引当金の増加9,604千円によるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては9,677,185千円となり、前連結会計年度末に比べ201,751千円の減少となりました。これは主として、当期純利益の計上9,247千円、為替換算調整勘定の減少216,623千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の世界経済は、中国市場の成長率の低下など不確定要因による変動要因は見込まれるものの、穏やかな回復基調が継続するものと思われま

す。セパレータの市場動向につきましては、第1四半期に引き続き穏やかな需給の改善が見込まれ、また、長期的には市場構造に大幅な変動はないものと分析しております。

このような状況の中、当社グループの大手バッテリーメーカーへのマーケティング活動により当初の計画に想定していない新規顧客への販売開始が見込まれます。

また、当社韓国子会社における4号ラインの設備投資は、かねてより見合わせておりましたが、営業状況等を勘案し再開しております。4号ラインの稼働は2015年度以降を想定しており、損益への大きな影響はございません。

このような環境であることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成26年5月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第1四半期連結会計期間より、子会社設立に伴い、W-SCOPE New Energy (Shenzhen) Co., Limitedを連結の範囲に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,686,005	3,579,748
受取手形及び売掛金	591,488	692,821
商品及び製品	943,151	855,632
原材料及び貯蔵品	122,344	119,271
その他	81,687	82,090
流動資産合計	5,424,677	5,329,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,227,120	1,188,784
減価償却累計額	△234,973	△239,218
建物及び構築物(純額)	992,146	949,565
機械装置及び運搬具	6,521,928	6,414,453
減価償却累計額	△2,271,874	△2,347,307
機械装置及び運搬具(純額)	4,250,053	4,067,145
建設仮勘定	934,715	1,041,387
その他	127,732	127,831
減価償却累計額	△81,139	△83,843
その他(純額)	46,592	43,988
有形固定資産合計	6,223,508	6,102,086
無形固定資産		
その他	21,093	18,978
無形固定資産合計	21,093	18,978
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,865	160,732
その他	16,677	17,209
投資その他の資産合計	89,542	177,942
固定資産合計	6,334,145	6,299,008
資産合計	11,758,822	11,628,573
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,392	25,348
短期借入金	1,400,000	1,400,000
未払法人税等	9,987	6,344
繰延税金負債	9,171	8,152
その他	346,383	407,199
流動負債合計	1,783,934	1,847,045
固定負債		
退職給付引当金	26,024	35,629
繰延税金負債	131	128
その他	69,795	68,584
固定負債合計	95,951	104,342
負債合計	1,879,885	1,951,388
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,119,445	4,119,445
資本剰余金	4,065,445	4,065,445

利益剰余金	△29,495	△20,248
株主資本合計	8,155,394	8,164,641
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,701,042	1,484,418
その他の包括利益累計額合計	1,701,042	1,484,418
新株予約権	22,500	28,125
純資産合計	9,878,936	9,677,185
負債純資産合計	11,758,822	11,628,573



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	292,072	839,509
売上原価	427,773	701,719
売上総利益又は売上総損失(△)	△135,701	137,790
販売費及び一般管理費	188,455	190,460
営業利益又は営業損失(△)	△324,156	△52,670
営業外収益		
受取利息	240	174
為替差益	34,586	-
作業くず売却益	3,127	11,998
その他	6,931	2,032
営業外収益合計	44,885	14,204
営業外費用		
支払利息	5,839	2,133
為替差損	-	38,735
営業外費用合計	5,839	40,868
経常利益又は経常損失(△)	△285,110	△79,334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△285,110	△79,334
法人税等	△23,314	△88,581
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△261,796	9,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△261,796	9,247

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△261,796	9,247
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	319,631	△216,623
その他の包括利益合計	319,631	△216,623
四半期包括利益	57,835	△207,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,835	△207,376
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

## ① 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
リチウムイオン二次電池用セパレータ	839,509	287.4
合計	839,509	287.4

(注) 1 当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、販売実績は、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

## 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東莞市旭冉電子有限公司	114,489	39.2	359,215	42.8
天津力神電池股份有限公司	78,249	26.8	—	—
A123 Systems LLC	—	—	88,320	10.5

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 前連結累計期間のA123 Systems LLC及び当連結累計期間の天津力神電池股份有限公司については、当該割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。

## (2) 設備投資の予想値

## 設備投資の予想値

会社名	事業所名 (所在地)	設備の 内容	セグメン トの 名称	投資予定額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後 の増加 能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
W-SCOPE KOREA CO., LTD.	本社 (大韓民 国忠清北 道清原 郡)	第4号生 産ライン 及び第5 号生産ラ イン等	—	5,000,000	918,746	自己資金 及び増資 資金	平成24年 5月	平成27年 3月	生産量約 50%増

(注) 1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2 当社の事業はリチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。